

今世田池留吉と出会うために肉体をいただいた私は、250年後アルバ - トと出会うためにまた肉体を持たせていただきます。混乱した社会の中で、私はアルバ - トと出会います。あなたを通して私は懐かしく嬉しい思いを思い出します。私はこの人を知っている、懐かしくて懐かしくてそして私はこの心に思い出すのです。田池留吉という言葉をこの口から出します。その途端に私の心は、この日本の国でともに学んだその人を思い出します。アルバ - トの中に私は田池留吉を思い出すのです。同じ温もりを私は思い出します。アルバ - ト、あなたは田池留吉でしたとこの心に蘇ってくるのです。嬉しい嬉しい瞬間です。懐かしい懐かしい瞬間です。どんなに苦しくて厳しい環境の中においても私の心は一瞬にして喜びに変わっていきます。それが私の来世です。肉を持たせてもらってアルバ - トと出会うことが喜びでした。もう一度私は私のこの心に真実を蘇らせることができるからです。意識は記憶しています。今世学んだ喜びを私はしっかりとこの心に刻みそして来世また生まれてきます。アルバ - トに心を向けることが幸せの道であること、私達はともに歩いていく意識であること、その思いを心にしっかりと抱きながら歩いていく人生が待っています。

250年後たくさんの友が集まります。アルバ - トの意識に目覚めたたくさんの友がいます。

嬉しいです。いっしょに歩いていきましょうと喜び、喜びで歩いていきます。